高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　芸術　　科目 美術Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（『美術2』(光村図書）　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション	指導事項 ・自己紹介 ・年間授業計画と評価 ・使用教材セットの内容確認 ・教科書の内容紹介								○	2
1学期	「油彩静物画」1 【知識及び技能】 ・3次元の物体・空間を観察し、十分に2次元に表現できるようにする。 ・材料用具の特長を理解し、適切な取り扱いができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて、個性的な表現ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・観察を深め、各自の意図に応じた表現となるよう創意工夫を重ねさせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・3次元の物体・空間の平面上への表現の方法 ・意図を持った表現の方法 ・材料用具（油絵用具）の取り扱い方	○			○	【知識・技能】 ・形・空間・陰影・色彩を観察し、平面上に的確に表現できているか。 ・材料用具の特長を理解し、適切な取り扱いができているか。 【思考・判断力・表現】 ・各自の意図に応じて構図・色彩・画肌・絵の具の重ね方などを工夫し、個性的な表現ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物を深く観察し、各自の意図に応じた表現に対する自覚的な言及、プレゼンテーションができているか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。	○	○	○	20
2学期	「美術館鑑賞レポート」 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術文化に主体的に接する機会を設け、生涯にわたって美術を愛好できるようにする。	指導事項 ・首都圏の美術館・展覧会の紹介 ・美術館鑑賞の手引き				○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術館・展覧会を調べ訪れ、能動的な鑑賞によって美的経験を得られているか。			○	2
2学期	「飲料品の広告ポスター」」 【知識及び技能】 ・意図に応じた構図、配色が行えるようにする。 ・的確な文字のデザイン・レタリングができるようにする。 ・意図に応じたキャッチコピーの作成、及びその画面内での構成ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現意図の設定、発想の方法、構想の方法を活用できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ・各自の意図を十分に表現するため、多方面からの探求を十分行わせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への	指導事項 ・発想、構想の展開方法 ・ヴィジュアルデザインにおける効果的な構成、配色の方法 ・デザインにおける文字の扱い方 ・材料用具（アクリルガッシュ）の取り扱い方		○		○	【知識・技能】 ・効果的な構成、配色がなされているか。 ・効果的なキャッチコピーが、的確なデザインで画面内に挿入されているか。 ・材料用具の特長を理解し、適切な取り扱いができているか。 【思考・判断力・表現】 ・明確な表現意図が設定され、それが効果的で明確な表現へと結実し、練り上げられているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各自の意図に応じた表現への探求に関する自覚的な言及、プレゼンテーションができているか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。	○	○	○	26
3学期	「油彩静物画」2 【知識及び技能】 ・3次元の物体・空間を深く観察し、十分に2次元に表現できるようにする。 ・材料用具の特長をより理解し、適切な取り扱いができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各自の意図に応じて、より個性的な表現ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・観察を深め、各自の意図に応じた表現となるようより創意工夫を重ねさせる。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達の作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・3次元の物体・空間の平面上への表現の方法 ・意図を持った表現の方法 ・材料用具（油絵用具）の取り扱い方	○			○	【知識・技能】 ・形・空間・陰影・色彩を十分観察し、平面上に的確に表現できているか。 ・材料用具の特長を理解し、適切な取り扱いができているか。 【思考・判断力・表現】 ・各自の意図に応じて構図・色彩・画肌・絵の具の重ね方などを工夫し、より個性的な表現ができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物を深く観察し、各自の意図に応じた表現に対する自覚的な言及、プレゼンテーションができているか。 ・講評会において、友達の作品の多様な表現への理解が深められているか。	○	○	○	20
											合計 70